

ダイワ・ブラジル・リアル債 α (毎月分配型)

ースーパー・ハイインカムー α 50 コース / α 100 コース

分配金のお知らせ

2018年10月17日

平素は、『ダイワ・ブラジル・リアル債 α (毎月分配型) ースーパー・ハイインカムー α 50 コース / α 100 コース』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2018年10月17日に決算を迎え、「α 100 コース」につきましては、当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）を以下のとおりと致しましたことをご報告申し上げます。

「α 50 コース」の分配金につきましては、前回決算と同額と致しました。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

《各コースの分配金(1万口当たり、税引前)》

	α 50 コース	α 100 コース
当期決算 分配金	80円	80円
(前回決算 分配金)	(80円)	(120円)
基準価額 2018年10月17日現在	5,755円	4,544円

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

分配方針

『ダイワ・ブラジル・リアル債 α (毎月分配型) ースーパー・ハイインカムー』の収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ② 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和投資信託）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目録見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q1 なぜ、「 α 100 コース」の分配金が見直されたのですか？

A1 現在の基準価額の水準およびインカム性収益の状況などを総合的に勘案した結果、今後も継続した分配を行い、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。

弊社の分配金の考え方は、ファンドの収益分配方針、インカム性収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金を決定するというものです。

「 α 100 コース」の分配金を見直したのは、現在の基準価額の水準およびインカム性収益の状況などを総合的に勘案した結果によるものです。

「 α 100 コース」は、第10期決算（15/12/17）以降120円の分配金を継続しておりましたが、ブラジル・レアルの対円為替レートが軟調に推移したことや分配金の支払いなどにより、基準価額は軟調な推移となりました。また、それに伴い、期待されるインカム性収益の額も減少しています。

当ファンドの場合、インカム性収益とは、①通貨カバードコール戦略で得られるオプションプレミアム、②債券の利息が該当します。

足元の分配金と基準価額の水準などを考慮し、今後も継続的な分配を行い、基準価額の下落を抑え信託財産の成長をめざすためには、分配金の見直しが必要との判断に至りました。今回、分配金を見直したことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

よくあるご質問 (Q&A集)

《基準価額・純資産・分配の推移》

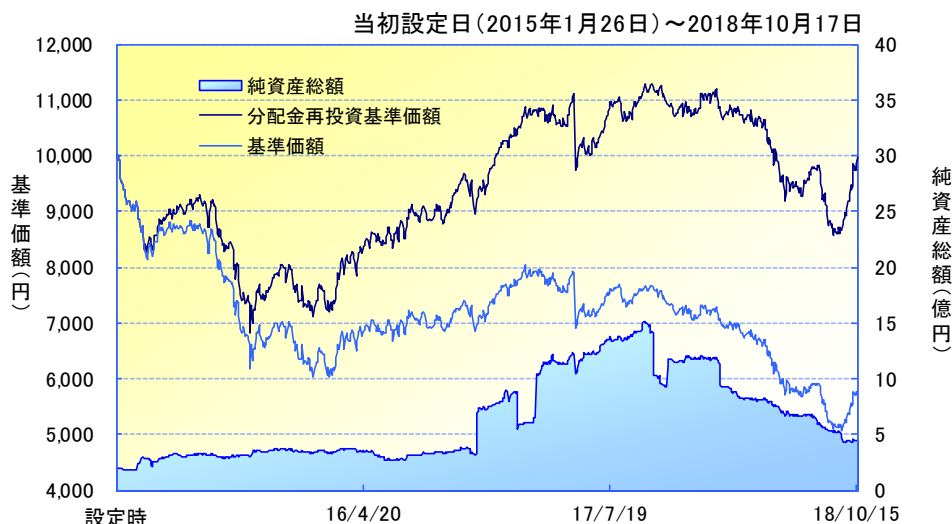
【α 50 コース】

2018年10月17日現在

基準価額	5,755円
純資産総額	446百万円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～39期	合計:	3,480円
第40期	(18/6/18)	80円
第41期	(18/7/17)	80円
第42期	(18/8/17)	80円
第43期	(18/9/18)	80円
第44期	(18/10/17)	80円
分配金合計額	設定来:	3,880円
	直近5期:	400円



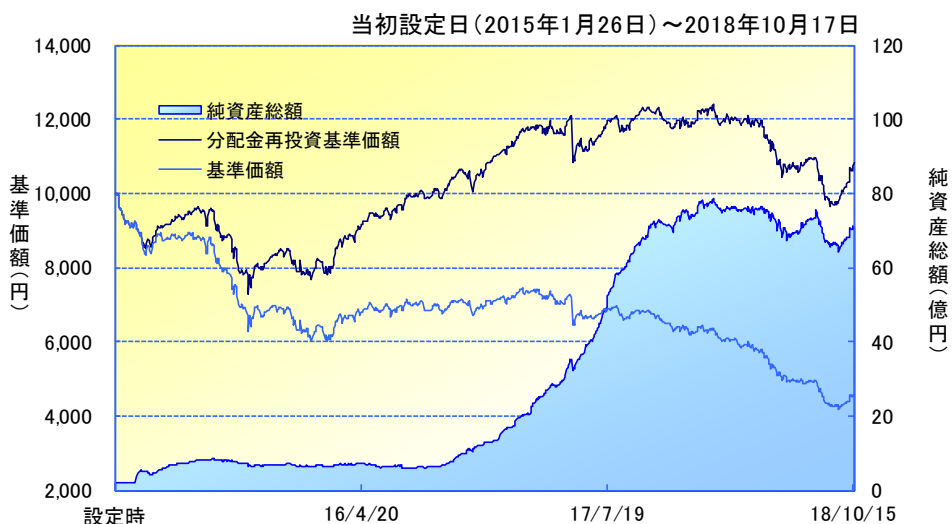
【α 100 コース】

2018年10月17日現在

基準価額	4,544円
純資産総額	70億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～39期	合計:	5,220円
第40期	(18/6/18)	120円
第41期	(18/7/17)	120円
第42期	(18/8/17)	120円
第43期	(18/9/18)	120円
第44期	(18/10/17)	80円
分配金合計額	設定来:	5,780円
	直近5期:	560円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q2 分配金はどのように決定したのですか？

A2 分配金は、収益分配方針に基づいて決定します。将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束することはできませんが、今後ある程度の期間にわたって分配を継続できるよう配慮しています。

当ファンドの収益分配方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後ある程度の期間にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特にインカム性収益の低下、基準価額の下落などは分配金の見直し要因となります。

Q3 分配金を事前に知ることはいくつか？

A3 決算日（毎月17日、休業日の場合は翌営業日）の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日（毎月17日、休業日の場合は翌営業日）に、ファンドの収益分配方針、インカム性収益の水準、基準価額の水準、市場環境等を勘案して委託会社（大和投資信託）が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

なお、委託会社のホームページ（<http://www.daiwa-am.co.jp/>）では、夕方から夜にかけて基準価額とともに分配金を公表しますので、そちらをご参照ください。

Q4 分配金を引き下げるといことは、今後の運用に期待できないということですか？

A4 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。

今回の「α100 コース」の分配金引き下げについては、現在の基準価額の水準およびインカム性収益の状況などを総合的に勘案し、決定しました。したがって、今回の分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン（総収益率）で確認する必要があります。引き続きパフォーマンスの向上をめざしてまいります。

Q5 最近の投資環境と今後の見通しについて教えてください。

A5 世界的な金融緩和環境が巻き戻されていることや、米中の貿易摩擦などが新興国市場への逆風となりました。また、ブラジルでの大統領選挙への懸念も重くなりました。大統領選挙では、ボウソナロ氏のリードが鮮明になればブラジルレアルの上昇材料となりそうです。

【投資環境】

FRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げを続け、ECB（欧州中央銀行）も緩和政策から脱却することが意識されるなど、世界的な金融緩和環境が巻き戻されていることや、米中の貿易摩擦などが新興国市場への逆風となりました。こうした中で、トルコなどを中心に新興国の通貨や債券は総じて弱含み、さらにブラジルでは大統領選挙への懸念も重なり、ブラジル・レアルは下落しました。また、ブラジル債券市場では、ブラジル・レアル安を受けて市場が織り込むインフレ率が上昇し、将来の利上げや財政リスクを織り込む形で金利は上昇（価格は下落）しました。

大統領選挙の第1回投票の得票率でリードしたボウソナロ氏は元軍人で、当初は過激な言動から警戒されていたものの、経済政策が市場寄りであると評価が改められています。同氏が第1回投票で事前予想以上に得票したことから、債券、為替ともに買い戻される展開となりました。

【今後の見通し】

大統領選挙の決選投票（第2回投票）の行方は依然不透明な状況となっているものの、第1回投票では、右派候補のボウソナロ氏の得票率が左派候補のアダジ氏を大きく上回ったことから、ボウソナロ氏がやや優勢とみられています。

ボウソナロ氏は財政再建や社会保障改革などの構造改革に比較的前向きとみられ、市場の評価を得ていることから、今後発表される世論調査でボウソナロ氏がリードしている状況がより鮮明になれば、ブラジル・レアルの上昇を後押しする材料になりそうです。ただし、ボウソナロ氏は政治基盤が弱いことから政権運営手腕への不安は残ります。大統領選挙の結果次第で市場は動くと思定されるとともに、その後の政権運営の見通しが重要になると考えます。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

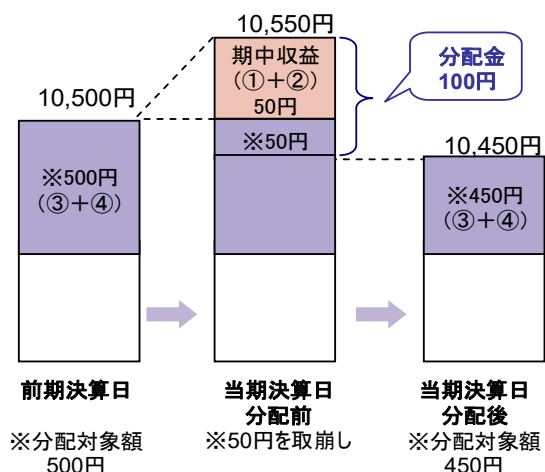
投資信託で分配金が支払われるイメージ



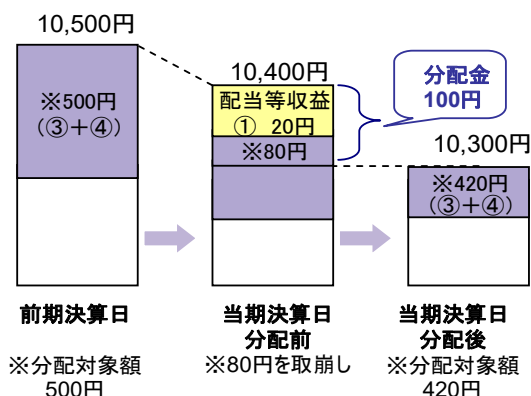
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



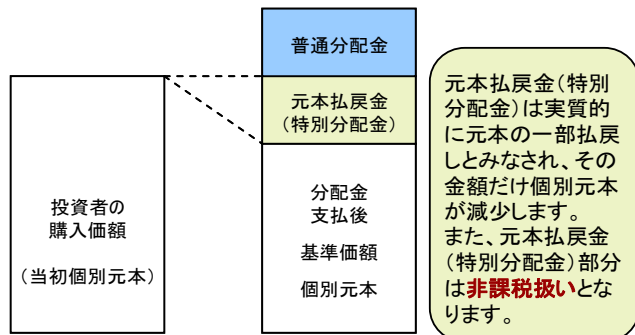
前期決算日から基準価額が下落した場合



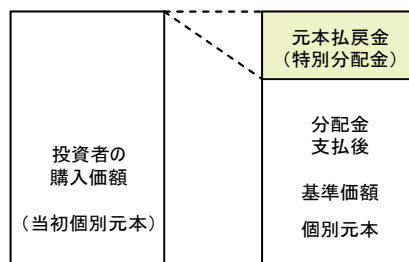
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

ダイワ・ブラジル・レアル債 α(毎月分配型) ースーパー・ハインカムー α50 コース／α100 コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ブラジル・レアル建債券へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. ブラジル・レアル建債券へ投資します。
 - 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。
 - 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。
 - ブラジル・レアル建債券の運用については、イタウ・ユニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。
2. 通貨のオプション取引を活用した通貨カバードコール戦略を構築します。
 - 円に対するブラジル・レアルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションプレミアムの獲得をめざします。
※「オプションプレミアム」とは、オプションの買い手が売り手に支払う対価をいいます。
 - オプションのカバー率の異なる2つのコースがあります。

	オプションのカバー率
α50コース	保有する外貨建資産の評価額の50%程度
α100コース	保有する外貨建資産の評価額の100%程度

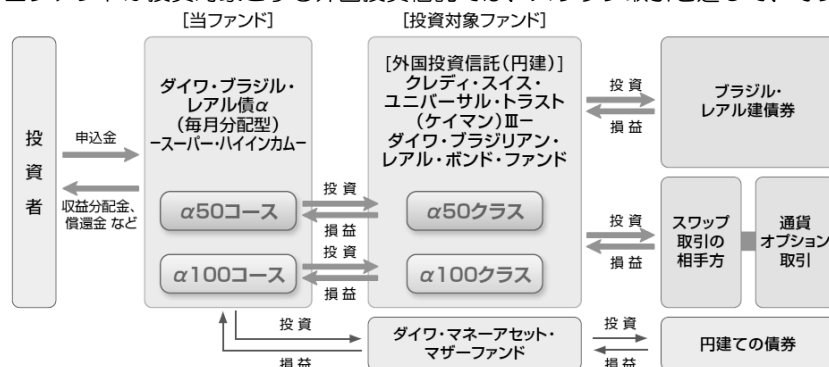
※流動性を確保するため、ブラジル・レアル建以外の債券を組入れる場合があります。

※通貨カバードコール戦略の比率は、運用環境等により、上記の比率から大きくかい離する場合があります。

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※基準価額は、為替変動の影響を受けます。

3. 毎月17日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - 外国投資信託の受益証券を通じて、ブラジル・レアル建債券への投資とオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築します。
 - 当ファンドが投資対象とする外国投資信託では、スワップ取引を通じて、オプション取引の損益を享受します。



◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ・ブラジル・レアル債 α(毎月分配型)ースーパー・ハインカムー α50コース：α50コース
ダイワ・ブラジル・レアル債 α(毎月分配型)ースーパー・ハインカムー α100コース：α100コース

◆各ファンドの総称を「ダイワ・ブラジル・レアル債 α(毎月分配型)ースーパー・ハインカムー」とします。

(注) 販売会社によっては「α50 コース」もしくは「α100 コース」のどちらか一方のみのお取り扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※ くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債 α (毎月分配型)

ースーパー・ハインカムー α 50 コース / α 100 コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「通貨カバードコール戦略の利用に伴うリスク」、「カントリー・リスク」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等、税制に伴うリスク等）」

・[α 50 コース] では、円に対するブラジル・リアルの為替レートが上昇した場合の為替差益が限定されるため、通貨カバードコール戦略を構築しなかった場合に対して投資成果が劣後する可能性があります。戦略再構築を重ねた場合、円に対するブラジル・リアルが下落しその後当初の水準程度まで回復しても、基準価額の回復は為替レートに比べて緩やかになる可能性があります。

・[α 100 コース] では、円に対するブラジル・リアルの為替レートが上昇した場合の為替差益を享受できないため、通貨カバードコール戦略を構築しなかった場合に対して投資成果が劣後する可能性があります。戦略再構築を重ねた場合、円に対するブラジル・リアルが下落しその後当初の水準程度まで回復しても、為替レートの上昇は基準価額に反映されません。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債α(毎月分配型)

ースーパー・ハインカムー α50 コース／α100 コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.2%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券 実質的に負担する 運用管理費用	年率 0.525%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
その他の費用・ 手数料	年率 1.74%(税込)程度	監査報酬、信託財産に関する租税、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内債券投資に伴い、ブラジル・リアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。なお、2018年7月末日現在、税率は0%です。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会